

仔牛の世話は子育てと同じ 命の重みを知る仕事



高知で
働く先輩

No.11

有限会社川渕牧場

またがわ ひめの
又川 姫乃さん(出身地/高知市)

【かわぶちぼくじょう】
会社・仕事の魅力

□家畜人工授精師の資格取得をサポート □未経験でも大歓迎。優しく、丁寧な指導 □温かなスタッフばかりで働きやすい

高知で働きたい方へ メッセージ

普通科の学生も大歓迎。
少しでも興味があれば
会社見学してみよう!

高知は狭いところだけれど、いい人ばかりで働きやすい。就職しても家族のそばにいたかったので今の職場は理想的です。親孝行ができ、友だちと会えるのも地元で働くメリット。生まれ育った地域に貢献します。

作業パーカーの下は、
ロクッな服装が多いです。
SNSで楽々へ働いています。



MESSAGE

私は仔牛の保育士さん!女性ならではの目線で牛を健康に飼育

市街地からも近い針木の梨畑の奥に広がる「川渕牧場」。50年近い歴史の中で規模を拡大し、今では400頭以上もの乳牛を飼育。品質の良い牛乳を安定して供給している。又川さんは、牧場に来て2年目。ここで働くことを決意したのは、動物好きだったことが大きい。高知農業高校では「牛班」に所属し、牛のお世話をしていた。県内で就職を希望していたとき、クラス担任が県内随一の規模を誇る「川渕牧場」を勧めてくれた。当時は高卒求人を行っていなかったが、彼女の実習成績が優秀だったこともあり初めての採用となる。主な仕事は、ここで生まれた仔牛たちの飼育や産後の乳房炎などで体調を崩した母牛の治療をすること。哺乳、餌やりのほか、検温や獣医さんの補助も。現場で毎日向き合っていると、仔牛たちの体調の変化にいち早く気付く。病気の牛は元気に、元気な牛はストレスなく、すくすくと育つよう気を配る。健康に育つ仔牛がいる反面、治療の甲斐なく助からなかった牛や食肉用になる親牛もいる。難産の母牛から赤ちゃん牛を引き張り出すこともある。救えなかった命を見てきたからこそ、命を見守る仕事への責任とやりがいはい大きい。心に刻む言葉は「日々精進」。昨日よりも確実なお世話をする。同じ失敗を繰り返さないなど、自分で課題を決めて日々努力している。今後は、点滴や静脈注射を練習し、先輩たちのように獣医さんが見落としたことに気付ける、積極的な治療ができるようになりたい。そして、将来は家畜人工授精師の資格にチャレンジしたい。「勉強することは多いが、牧場で行う人工授精の頻度を上げるために頑張りたいと目を輝かせた。

D A T A


川渕牧場
KAWABUCHI FARM

高知県高知市針木西1323 TEL/088-840-1506
▷代表者/川渕 容史 ▷創業/平成13年(会社化) ※牧場開始は昭和47年
▷売上高/7億円 ▷従業員数/20名
HP/<https://kawabuchi-bokuju.com>

HPをチェック

